



みなみいず 町議会だより

No. 63号

2015年
平成27. 12. 15

発行／南伊豆町議会 編集／議会広報編集委員会 〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1 TEL0558(62)6240
E-mail:gikaj@town.minamiizu.shizuoka.jp



(平成27年8月改選による11名の新議員)

後方左から 清水清一、漆田 修、齋藤 要、渡邊嘉郎、横嶋隆二

前列左から 岡部克仁、渡邊 哲、比野下文男、加畑 毅、長田美喜彦副議長、稲葉勝男議長

9月定例会を9月29日～10月30日まで32日の会期で開催しました。

- 主な内容
- 新しい議会構成です！ ……………2
 - 一般会計・特別会計・9月定例会・
水道事業会計決算概要 ……………3～5
 - 審議中にあった質疑又は意見要望事項 ……………6～9
 - 一般質問 ……………10～17
 - 議会一口メモ、くろ潮、未来を担う子ども達 …18

新しい議会構成です！

7月26日執行の町議会議員選挙の結果、新しい議員が誕生したので、第1回臨時議会において正副議長の選挙、常任委員会、一部事務組合議員など議会人事を決めたほか、議会選出の監査委員（齋藤 要）の選任に同意しました。

議会構成

議長 稲葉勝男 副議長 長田美喜彦

※常任委員会

第1常任委員会

◎清水清一 ○比野下文男 岡部克仁
稲葉勝男 漆田 修 渡邊嘉郎

第2常任委員会

◎横嶋隆二 ○渡邊 哲 加畑 毅
長田美喜彦 稲葉勝男 齋藤 要

予算決算常任委員会

◎加畑 毅 ○岡部克仁 渡邊 哲
比野下文男 長田美喜彦 清水清一
漆田 修 齋藤 要 渡邊嘉郎 横嶋隆二

議会運営委員会

◎加畑 毅 ○岡部克仁 長田美喜彦
清水清一 横嶋隆二

行財政改革特別委員会

◎清水清一 ○渡邊 哲 岡部克仁
比野下文男 加畑 毅 長田美喜彦
稲葉勝男 漆田 修 齋藤 要
渡邊嘉郎 横嶋隆二

議会改革調査特別委員会

◎長田美喜彦 ○横嶋隆二 岡部克仁
渡邊 哲 比野下文男 加畑 毅
稲葉勝男 清水清一 漆田 修
齋藤 要 渡邊嘉郎

公立湊病院跡地利活用調査特別委員会

◎漆田 修 ○ 齋藤 要 岡部克仁
渡邊 哲 比野下文男 加畑 毅
長田美喜彦 稲葉勝男 清水清一
渡邊嘉郎 横嶋隆二

※一部事務組合

南豆衛生プラント組合議員

岡部克仁 稲葉勝男 清水清一
齋藤 要 渡邊嘉郎

伊豆斎場組合議員

渡邊 哲 漆田 修

下田地区消防組合議員

比野下文男 加畑 毅

下田メディカルセンター

長田美喜彦 横嶋隆二

※議員会（任意）

会 長 長田美喜彦

副 会 長 清水清一

議員会理事 比野下文男 加畑 毅 稲葉勝男

議員会監事 齋藤 要

※広報編集委員会（任意）

◎長田美喜彦 ○加畑 毅 岡部克仁

渡邊 哲 比野下文男

※◎は委員長 ○は副委員長

議長就任の挨拶

議長 稲葉勝男

今般、議会の選任を受け、議長職に就かせて頂くことになりました。

議長として目標は、町民の直接選挙によって選ばれ、町民全体の代表である議員で構成する議会活動のすべてが住民福祉に繋がり、身近にあって信頼される議会をつくることです。そのためには開かれた議会が第一条件であり、議会基本条例を制定し、町民との意見交換を行い町政に反映させること、議会活動を報告し評価を受けること、議会の傍聴がしやすいなど議会改革を進めます。

経済不況、少子高齢化、生命と財産を守るための防災・減災対策など多くの課題を抱え町政運営も厳しい状況にあります。国の制定した「まち・ひと・しごと創生法」を千載一遇の好機ととらえ、行政と議会が一丸となり、町の発展に取り組む決意です。町民各位のご協力をお願い申し上げます。

平成27年度 9月定例会

一般会計・特別会計 補正予算可決

・国民健康保険
・介護保険
・後期高齢者医療
・公共下水道事業
・水道事業

全員賛成

総額 ▲435,726千円！

■ 一般会計▲488,963千円

主な内容

- 総務費.....▲602,399千円
- 民生費..... 27,940千円
- 衛生費..... 333千円
- 農林水産費..... 1,176千円
- 商工費..... 4,900千円
- 土木費..... 57,322千円
- 消防費..... 18,500千円
- 教育費..... ▲3,733千円
- 災害復旧費..... 6,998千円

■ 特別会計53,237千円

主な内容

- 国民健康保険..... 46,725千円
- 介護保険..... 3,947千円
- 後期高齢者医療..... ▲472千円
- 公共下水道事業..... 1,920千円
- 水道事業..... 1,117千円

平成27年 9 月議会定例会採決一覧表

No.	議案番号	提出議案	審議結果	岡	渡	比	加	長	清	漆	齋	渡	横
				部	邊	野	畑	田	水	田	藤	邊	嶋
				克	哲	文	毅	美	清	修	要	嘉	隆
				仁		男		喜	一			郎	二
1	報第 6 号	平成26年度南伊豆町健全化判断比率について	報告										
2	報第 7 号	平成26年度南伊豆町資金不足比率について	報告										
3	議第46号	南伊豆町教育委員会委員の任命について（臼井善吾氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	議第47号	南伊豆町教育委員会委員の任命について（萩原利恵子氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	議第48号	南伊豆町個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	議第49号	南伊豆町手数料条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	議第50号	備品購入契約について（平成27年度緊急地震・津波対策事業可搬ポンプ付積載車購入）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	議第51号	平成26年度南伊豆町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	議第52号	平成27年度南伊豆町一般会計補正予算（第 2 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	議第53号	平成27年度南伊豆町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	議第54号	平成27年度南伊豆町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	議第55号	平成27年度南伊豆町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	議第56号	平成27年度南伊豆町公共下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	議第57号	平成27年度南伊豆町水道事業会計補正予算（第 1 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	議第58号	平成26年度南伊豆町一般会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
16	議第59号	平成26年度南伊豆町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	議第60号	平成26年度南伊豆町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
18	議第61号	平成26年度南伊豆町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
19	議第62号	平成26年度南伊豆町南上財産区特別会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	議第63号	平成26年度南伊豆町南崎財産区特別会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	議第64号	平成26年度南伊豆町三坂財産区特別会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	議第65号	平成26年度南伊豆町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	議第66号	平成26年度南伊豆町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	議第67号	平成26年度南伊豆町子浦漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	議第68号	平成26年度南伊豆町中木漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	議第69号	平成26年度南伊豆町妻良漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	議第70号	平成26年度南伊豆町水道事業会計決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成：○ 反対：×

※議長 稲葉勝男は採決に加わっておりません。

平成26年度

一般会計・特別会計・水道事業会計 決算認定される！

一般会計・特別会計・水道事業会計決算概要

(単位：千円)

会計区分		歳入	歳出
一	一般会計	4,719,789	4,457,267
特別会計	国民健康保険	1,717,191	1,573,261
	介護保険	1,036,732	1,036,663
	後期高齢者医療	107,582	107,509
	南上財産区	336	110
	南崎財産区	446	345
	三坂財産区	9,051	8,959
	土地取得	16,738	16,738
	公共下水道事業	357,376	336,376
	子浦漁業集落排水事業	12,756	12,756
	中木漁業集落排水事業	7,842	7,842
	妻良漁業集落排水事業	18,292	18,292
水道事業	収益的収支	320,295	305,357
	資本的収支	127,765	235,150

石廊崎ジャングルパーク跡地・水道施設他8ヶ所の町内現地視察をしました。



石廊崎ジャングルパーク跡地



水道施設（石井浄水場）

審議中にあった質疑又は意見要望事項

○ 予算決算

常任委員会

一般会計

- 第1款・議会費
- 第2款・総務費
- 第8款・消防費
- 第11款・公債費
- 第12款・予備費及び関連歳入について



答 議会からの要望であれば検討します。庁用車には完備しています。

問 財政状況についての質問がなされた。

答 一般財源を伸ばしていく政策が重要と考えます。

問 交通災害保険についての質問がなされた。

答 交通安全関係の事業に使うための基金として保管してあります。

問 ドライブレコーダーについての質問がなされた。

問 空き家バンク事業についての質問がなされた。

答 業者との直接契約は発生していません。

問 ジャングルパーク跡地についての質問がなされた。

答 基本計画案を尊重し、関係法等を勘案し、伊豆半島の石廊崎として整備が必要と考えます。

問 財政力指数についての

質問がなされた。

答 現実的には厳しいが、最終目標は財政力指数1を目指したいです。

問 地熱資源開発事業についての質問がなされた。

答 あわび養殖やバイナリー発電にも繋がる期待があります。

問 バイオマス事業についての質問がなされた。

答 手を上げている企業があるので出来る限り進めていきたいです。

問 南伊豆町から他町へ納めているふるさと応援基金についての質問がなされた。

答 平成27年度は、個人住民税に係る寄付金控除額は、13件で35万7千161円です。

問 松崎高校への通学についての質問がなされた。

答 東海バスにて運行中です。今後もより良い方法を検討していきます。

問 南伊豆中学校南上方面行きのバス停についての質問がなされた。

答 雨対策は検討していきます。

問 研修費等についての質問がなされた。

答 簿記検定、資格取得のためです。

問 防災備品備蓄状況についての質問がなされた。

答 広域避難地に9万食、水は3万本を目標に備蓄していきます。

問 ふるさと基金について

の質問がなされた。

答 返礼品は4割程度のもので、現在生産物は品薄なので旅行商品等も検討します。

問 プロジェクトチームでアイデアを出してみてもどうか。

答 検討していきます。

問 津波カメラの動画化について質問がなされた

答 現在は随時更新の静止画で、動画化にはインフラ整備が必要です。



**第3款・民生費
第4款・衛生費
第9款・教育費及び関
連歳入につい
て**

問 通院助成について質問がなされた。

答 路線バスでの助成はあり、本年度は90名程度の申請がありました。

問 敬老祝い金見直しについての質問がなされた。

答 80才を区切りに、節目での祝い金等を今後は検討していきたいです。

問 医療費扶助の父子家庭支援について質問がなされた。

答 父子家庭にもあります。



問 高校生までの医療費負担金無料についての質問がなされた。

答 今後検討していきます。

問 学校統合審議会についての質問がなされた。

答 統合ありきでなく、慎重に審議していきたいです。

問 南上小学校の存続についての質問がなされた。

答 中立的に発言していきたいです。

問 共立湊病院跡地についての質問がなされた。

答 院長宿舍跡地売却を優先に考えております。

問 在宅高齢者食事サービスについての質問がなされた。

答 3月末での利用者数は84名で、これからも継続していく予定です。

問 校舎雨漏り点検について

問 認定こども園の日曜祝日の開放についての質問がなされた。

答 学校からの要望がありましたら、当初予算等で対応していきます。

問 横浜市交流でのカッターレースをふるさと学級で復活させてみてはどうか。

答 練習場所等の問題もあるので難しい現状ですが、検討していきます。

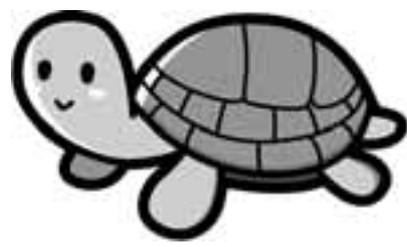
問 管理問題もありますので、園長や保護者会とも検討したいと思えます。

問 武道館への血圧計設置についての質問がなされた。

答 血圧計設置は今後検討していく。

問 出産祝い金の上乗せについての質問がなされた。

答 現状が適切な金額と考えております。



問 ウミガメについての質問がなされた。

答 昨年度、今年度ともに産卵状況はゼロです。

問 ALTについての質問がなされた。

答 小学校、中学校の英会話授業へ参加し、今後、英語は小学校でも必修科目になるので、英会話を拡充していきたいです。

**第5款・農林水産業費
第6款・商工費、及び
その関連歳入
について**

問 有害鳥獣対策についての質問がなされた。

答 狩猟免許保有者への対応見直しも検討していきたい。

問 役場職員の取得についての質問がなされた。

答 希望者がいれば支援していく。

問 捕獲檻についての質問がなされた。

答 現在の数は28です。補助活用、買い増しも検討していきます。

問 吉祥体験農園補助についての質問がなされた。

答 今後、管理委託先、農園利用者と協議していきます。

問 遊休農地対策についての質問がなされた。

答 地主へ適正な管理を働きかけていきます。

問 ハンマーナイフについて

答 貸出については検討しますが、台数を増やすことは難しい。

問 農業用水路についての質問がなされた。

答 基本的には受益者に管理してもらうことになりません。

問 NPO湯の花直売所の内部留保金、家賃の金額についての質問がなされた。

答 観光協会とNPO湯の花との問題であるが、契約の見直しを提案していきます。

問 水産業の振興についての質問がなされた。



答 観光と漁業を総称して海業とし、国や県と折衝していきます。

問 細胞を壊さない冷凍設備の導入についての質問がなされた。

答 基幹産業への投資は必要ですが、町づくりで最も重要なのは人材です。

問 成果説明書の水産業表記の質問がなされた。

答 来年は事業内容を表記できるように、努力していきます。

問 ブランド特産品についての質問がなされた。

答 認定ブランド特産品は56品目です。「海中熟成酒の里事業」も行いました。

問 海外セールスキャンペーンについての質問がなされた。

答 伊豆の認知度が低いので、旅行社へのアピール継続の必要性を感じています。



姉妹都市塩尻市との関係についての質問がなされた。

答 昨年5月のワインフェスタには30名弱が参加しました。色々な面で交流を深めていきたいです。

問 観光協会法人化による補助金の関係についての質問がなされた。

答 法人化しても連続性があるのので、補助金は続ける予定です。

問 林道青野八木山線についての質問がなされた。

答 工事の残りは3千800m

答 伊豆縦貫自動車道路の問題はありますが、当町としては進めていきたいです。

くらしい。平成33年まで工期は延長しました。

問 一條稻梓線についての質問がなされた。

答 伊豆縦貫自動車道路の問題はありますが、当町としては進めていきたいです。

第7款・土木費

第10款・災害復旧費及び関連歳入について

問 伊豆縦貫自動車道路についての質問がなされた。

答 早期完成を目指して活動していきます。

問 県道等、水銀灯についての質問がなされた。

答 県の関係者に伝えていきます。

問 住宅リフォーム補助事業についての質問がなされた。

答 16件の申請がありました。状況によっては補助割合の増加も検討します。

問 ふるさと公園についての質問がなされた。

答 河川親水公園なので、本来遊具設置は難しい。要望があれば検討していきます。

特別会計

1、議第59号

・平成26年度南伊豆町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

議第60号

・平成26年度南伊豆町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

議第61号

・平成26年度南伊豆町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

問 国民健康保険の資産割についての質問がなされた。

答 現状では導入しているところは多いです。

問 国民健康保険税の状況についての質問がなされた。

答 1人あたり8万7千922円です。

問 国民健康保険税の県単位移行についての質問がなされた。

答 県の通達によりですが、負担増にならないように均等割も主張していきます。

問 介護保険地域包括支援における医療機関他関係機関との連携についての質問がなされた。

答 法律上は29年度からの施行ですが、当町は28年度から取り組みます。

問 民生委員の役割について質問がなされた。

答 本町の民生委員は27名です。個人情報を守りながら地域の状況を行政に報告する重要な役割です。



2、議第62号

・平成26年度南伊豆町南上財産区特別会計歳入歳出決算認定について

議第63号

・平成26年度南伊豆町南崎財産区特別会計歳入歳出決算認定について

議第64号

・平成26年度南伊豆町三坂財産区特別会計歳入歳出決算認定について

議第65号

・平成26年度南伊豆町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について

問 差田町有地の今後の計画についての質問がなされた。

答 継続的に取得してきたものですが、当初計画のスポーツ施設建設は現在では無理だと思えます。今後、検討していきます。

3、議第66号

・平成26年度南伊豆町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

議第67号

・平成26年度南伊豆町子浦漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

議第68号

・平成26年度南伊豆町中木漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

議第69号

・平成26年度南伊豆町妻良漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

問 公共下水道の加入率について質問がなされた。

答 湊70.4%、手石50.6%、下賀茂19.7%、全体で51.6%です。

問 クリーンセンター改修についての質問がなされた。

答 3カ年で進めていきます。



4、議第70号

・平成26年度南伊豆町水道事業会計決算認定について

問 井戸、上水道についての質問がなされた。

答 下水道では別メーターはありますが、上水にはありません。公平制の面でも検討していきます。

問 水道課の建物についての質問がなされた。

答 36年が経過しており、耐震診断は現在進行中です。

問 簡易水道についての質問がなされた。

答 町内で石綿管が残っている箇所は、南上簡易水道

が約3km、毛倉野簡易水道が1.5km残っています。発電機については必要に応じて検討していきます。

問 無形固定資産の増加についての質問がなされた。

答 青野川水利権の更新分が増えました。10年更新になります。

問 上水道でカルキ臭以外の対策についての質問がなされた。

答 カビ臭は対応していきます。



町長に聞きました



漆田 修 議員

再生可能エネルギーと町おこし

質問 昨年度補正予算及び今年度当初予算でそれぞれ23千万、69千万円という予算措置があったが計上の所信は如何か。

町長 今年度は補正減を報告の通りしているが、緑の分権改革を切り口として申請に取り組んだ。アワビ養殖事業やバイナリー発電の援用など温泉エネルギーの活用を通して町おこしを

致し度い。併せて他のエネルギーミックスも視野に森林整備等も活用対象とした。

質問 平成27年度予算の予算計上の詳細については懐疑的な面も、多くの住民が感じたと思うが改めて其所信を。

町長 26年度にあれだけの予算がつき、大体調査も進

んだと認識し両事業にJOGMECもゴーサインを出すとの推測のもと、斜め試垂井の事業申請をした。その経緯の中で解析結果が不十分であるという事や諸々の諸条件から今般の減額補正と相成った。

質問 平成27年3月パシフィックコンサルタントのまとめた小論文があるが通読した感想は如何か。

町長 解析結果がはつきりした結果でなく東電設計(株)報告の中でも帽岩は無いと言われているが、今回の報告の中でも完全な解析は出来ていないと認識した。

質問 総務省案件の“緑の分権改革”や環境省の“温泉共生型深部貯留層調査”等の経緯に就いては熟知するが、其の結果と今回の一連の調査・開発事業の関係に対する当局認識は如何か。

企画課長 当初の目的は再生可能エネルギーのミックス化にあったが採算性面で地熱利用議論に偏在した。

残念であるが今後帽岩の存否も含めて深部掘削の方向を考慮し度い。又エネルギーミックスの再考等調査を展開し度い。

質問 反射法地震探索法は事業の経済性、効率性、効果性の中効果性に就いて重大な問題がある。約4千万円費やした割に報告書にある通り其の効用は低い。地磁気電磁波調査法の比抵抗分析結果を敷衍する程度である。改めて再解析する必要性はどこに有る。

町長 世界の中でも一、二を争う地下解析の企業であり、信頼性の高い調査結果が得られると思慮する。

質問 バイオマス利用基本計画法(法52号)は各自治体は施行上努力義務があるが町総合計画での捉え方は如何か。

町長 里山資本主義の中で循環型資源再生の考え方や先の森林賦存量の調査や再生可能資源調査結果等をふまえて、林野庁施業基本計

画などを推し進め乍らバイオマス発電など視野に更に考えを押し進め度い。

質問 炭化系燃料を用いた“追い炊き式バイナリー発電”の提案をし度い。炭・薪・チップ等を用い里山森林の伐開と木炭製造従事者の労働市場の確保、里山整備による鳥獣被害減による農耕意欲の増大、電力の公的施設への利用など一石三鳥の効果があるが如何か。

町長 大変良い提案と思慮する。現在具体的な種々の働き掛けも有り、前向きに考えを押し進め度い。





加畑 毅 議員

伊豆半島ジオパークの世界認定の結果に対しての町の今後の対応

質問 平成27年9月19日に鳥取で行われたアジア太平洋ジオパークネットワークシンポジウムで、伊豆半島ジオパークは残念ながら世界認定にならなかったが、率直な意見を町長、担当者に聞きたい。

町長 伊豆半島ジオパークは当町を含めた伊豆半島7市8町及び静岡県で構成する伊豆半島ジオパーク推進協議会が中心となり、世界ジオパークネットワーク加盟に向けた活動を展開して

まいりました。本年6月には海外審査員2名による現地審査が行われ、その結果が9月19日のアジア太平洋ジオパークネットワークシンポジウムにおいて発表されたところでありますが、今回の発表は一部の審査項目で評価資料が不足していることから、世界認定は保留になったと言われております。本年11月には追加審査の結果が発表される見込みですが、この結果に関係者一同期待を寄せているところであります。

今後におきましても引き続き推進体制の充実強化に努めるとともに「伊豆は一つ、世界から称賛され続ける地域を目指して」を合言葉にジオガイドの育成やジオツアーの開発を進めていくことで地域活性化につなげていきたいと考えております。南伊豆町はビクターセンターをいち早く伊豆の中でつくり上げたわけで、ジオパークに関しましては議員の皆さんも我々も、他市町と比べましても関心が深いところでもあります。私が思うには、南伊豆町はやはり海からのジオパークをもっと推進していきたいと思えます。石廊崎の遊覧船では、本瀬も人気ですが、やはり



ヒリゾ浜へ行く遊覧船が、ものすごく人気があるそうです。海から見るジオパークを推進していくことが南伊豆町にとっては非常に効果的なかなと感じております。

産業観光課長 今回の保留

につきましてはジオパーク推進協議会からの情報収集の内容が届いております。加盟の可否を判断するのに必要な複数の情報がまだ足りなかったとのこと。ただ、追加資料の内容については今のところ具体的には分かっていないようです。11月末頃までに世界ジオパークネットワークとして再度認定の可能性があるということですので、見送りではなく保留ですので、11月中にどのような判断が出来るかです。

質問 実際に認定となった場合にはジオガイドの皆さんが活動しやすい環境が整っていることが

重要です。ジオガイドの皆さんの役割は当町の観光産業に大きく影響してくるはず。ジオガイドの皆さんとは日頃から会合などで、頻りに情報交換等を行っているのか。

産業観光課長 直接に担当

課ではやっています。観光協会への委託の中でジオツアーとか、ガイドさんの企画した事業推進で支援等は行っている状況です。

杉並区の自治体連携による特養ホームの今後

※質問し、答弁があった。





長田美喜彦 議員

少子高齢化対策

質問 国は保育料の考えを2子から半額に、3子からは無償化の考え、町では少子化について、現在のどのような対策を考えているのか、保育料の見直しなど、子育てへのさらなる支援の拡大の考えは。



町長 本町においても利用者負担の上限額に関する多子軽減の特例を定め、2子及び3子の利用者負担の上限額を減額し、本年4月より実施している。

質問 今後全員無償化の方に向けて進んでもらいたい。

健康福祉課長 国の方の動き等も注視し、出来るものであればそのような方向も検討・研究してまいりたい。

質問 町全体で生まれた子供は平成24年度は32名、25

年度は32名、26年度は43名です。これを見ますと、学校統合の問題が発生する、町の考えは。

教育長 南上小においては、27年5月現在全校児童数49名、複式学級が2年と3年の1学級、このような状況のなかで、統合について審議中です。

質問 高齢者への通院や買い物などへの足の確保に対して、今後の町の対応は。

町長 高齢化や身体的理由等により公共交通機関を利用することが困難な交通弱者に対し、医療の確保、健康保持・増進を目的として患者輸送事業を運行経路など需要を考慮しつつ、継続していく。



買い物困難者への対応は、需要に応じて運行するテーマンド方式の導入も含め、検討していく。

観光再生への考え

質問 外国人観光客数が前年度比46.9%増、インバウンド事業の中で、どのように本町に誘致してくるのか。

町長 台湾に関しましては町単独と、美しい伊豆創造センターによるトップセールス等を行っている。

質問 石廊崎ジャングルパーク跡地利用計画の進捗状況は。

町長 平成28年度中においては、実施可能な範囲の中で樹木の伐採等の景観整備を進めていきたい。そしてコンサルタント等の民間ノウハウを導入し実施計画を固めた上で、実施設計段階に入り、平成29年度には事業着手してまいりたい。

防災対策への考え

質問 県が土砂災害危険箇所の見直しをし、2割増しの576カ所ですが、町としては現在どのように考えているのか。

町長 あらたな指定箇所の近隣住民への周知など、迅速な防災対策が求められており、砂防指定地、地滑り防止区域、急傾斜地崩壊危険区域も含め、各種災害発生時の助長や誘発につながる行為等の制限を強化するとともに、県が実施予定のハード事業面についても早期施設整備に向けて支援していく。

質問 長い海岸線津波対策等の考えは。

町長 各海岸地域で地区協議会を順次開催します。地域住民の安心安全な生活の営みが継続可能な環境整備に向け、県とともに事業推進してまいります。



岡部克仁 議員

国、県道の整備

質問 国道136号線二條地内の狭く、見通しの悪い箇所は地元の人以外の利用者が多く、危険だが、認識は。

町長 泉交差点から差田交差点までの間については、道幅が狭く、見通しが悪い状況であると認識はしている。管理者である静岡県に対し数年前から要望は行っているが、引き続き実施していきます。

質問 それに対し、土木事務所はどのような対応か。

町長 全線改良になると、

予算確保が難しいが、ポイントで整備箇所が提示

出来れば維持修繕的な事業により整備を進めることは検討出来る。危険度の高い箇所から順次改修整備を進めるよう要望書を提出していきます。

質問 土木事務所では、吉祥方面の道路が整備され、いい道路になったので136号線を通ることを想定していなかったと聞いたが。

建設課長 県では巡回路的に考えられる。待機所的なものならば、検討出来る。

地区の要望等で取り上げて下さいと、土木事務所の答えです。

質問 県道、下田石廊崎松崎線、湊地内、東中学校入口から湊大橋付近までの通学路が危険、早急な対応を。

町長 落木の恒久的な対策は困難、加えて土砂災害特別警戒区域に指定されたことにも配慮し、道路反対側に歩道整備するため、再度要望書を提出しました。

スポーツイベントと観光振興

質問 町内で120名を超える競技者のいるグラウンドゴルフを観光の資源としては。

町長 人気の高いグラウンドゴルフにつきましても高齢者から若年層まで幅広い愛好者に支えられ競技人口も増加していることから、団体向けの温泉や食を組み合わせたツアー客にも適していると考えられます。

質問 ふるさと公園では日差しを避ける場所がないので、熱中症対策のために建物も早急に建ててほしい。

町長 河川公園のため、構築物整備に伴う許可は非常に難しい。既存の管理棟での対応をお願いしたい。



若い世代への支援

質問 全国的に定住促進の予算はあるが、地元に残る若者達へ町としての支援は。

町長 直接的な支援はないが、企業誘致施策を展開し多くの若者が安心して生活出来る就業環境の整備に努めます。

質問 個人事業者を初めとする事業者については。

町長 起業支援の施策はありません。

産業観光課長 後継者部分の人材マッチング促進事業とか、活用できることがあるので商工会を通じた中で支援も必要と考えます。

質問 漁業、建築等は大変衰退しているが町の対策は。

町長 産業後継者については、頭の痛いところ、今後漁業に関してはアワビの養殖とか、新しいカタチの漁業も考える。建設業等には住宅関係補助金制度を色々つくって、一応支援をしています。





比野下文男 議員

防災対策

質問 東日本大震災以降、防災訓練の実施回数及び参加人員が減っている様に感じるが如何か。また、訓練慣れしマンネリ化していると思われるが。

町長 総合防災訓練、地域防災訓練、津波避難訓練等の訓練を行っている。年々減少傾向が見られるが、訓練を続けながら防災意識を高めていきたい。

総務課長 人命を守るため、迅速な避難の重要性について、地区単位によるきめ細かな訓練計画等の支援を行

い、緊急な早朝や夜間訓練等も取り組みたい。

一次避難地の管理状況

質問 各地区の一次避難地の状況は、避難路とともに荒廃している箇所が見受けられる。高齢化と共に地域での管理が難しい所は、業者委託した場合でも、町の支援はあるか。

総務課長 一次避難地等の管理を地域でお願いしているが、業務委託や業者委託

でも自主防災事業補助金で対応する。

避難手順の確認

質問 大地震が発生し、大津波警報が発令された場合、自主防では町対策本部へ報告し公助を受けるため、地域にあった避難手順が必要になるが。

総務課長 各地区により状況が違つので一律的な手順の提示は難しい。地域防災計画ではあらゆる災害の種類や状況に応じ行動計画を想定している。町広報誌やホームページ、出前講座等で周知を図りたい。

津波被害の減災

質問 減災対策として各地で防潮堤や水門建設等計画されているが、県の計画は。

町長 県はレベルの地震による想定津波高を発表し、

地域住民の合意形成に基づきながら整備促進に取り組んでいる。海岸各地域を対象に地区協議会を開催し景観を重視し、減災効果に有効であることを説明しながら、早期実現に向け前向きな議論を進めていく。

避難勧告や避難指示

質問 昨今、局所的な豪雨により各地で大きな被害が出ている。町の避難勧告や避難指示の判断基準は。

町長 避難勧告は、災害により被害が発生する恐れがある場合。避難指示は人的被害の危険性が非常に高まった場合に発令される。町の判断伝達マニュアルに従い、関係機関と連携を取りながら、早期対応に努めている。

老朽家屋の耐震対策

質問 昭和56年以前の木造住宅耐震補強補助事業の内

容は。また、周知を図るため広報の充実と工事費等の利子補給制度はいかがか。

町長 耐震診断は無料、耐震補強工事は一部助成を行っている。

建設課長 広報については、県と町それぞれがダイレクトメールや広報誌で周知を図っているが、建築業者へのPRも考えている。今後、更なる助成も検討したい。





横嶋隆二 議員

まち・ひと・しごと創生総合戦略と南伊豆の将来

質問 全国町村会は、消滅自治体という増田レポートは近年の田園回帰の動きを軽視しており要注意と表明。全国町村議会議長会は、地方創生を基本的な狙いの中に人口の減少に歯止めをかけることが明文化された点を除けば、新味ある表現は見当たらない。少子高齢化の対応・東京一極集中の是正、望ましい地域社会像表現もこれまでと大きな変化はないとしている。地方人口ビジョンについてどういう展望を持っているか。

町長 高齢化率は、現時点

組みを強調している。藤山浩先生は、3月議会でも話したが、平成16年1月視察した島根県中山間地域研究センターに小田切徳美氏とともに関わり、過疎地域で地域に根ざした産業に着目して特徴的な取り組みを重ねてきた成果が、海士町や邑南町になっている。農林水産業振興にしっかり着目推進すべきだ。



地熱発電事業と地域エネルギー

質問 平成27年度当初6億8千万円の予算が6億4千万円に減額された要因は。

町長 斜め掘りで経費が多すぎる点、新しい産業構造

提案は時期尚早と指摘された。

質問 地熱発電で雇用は無。温泉熱発電では雪深い奥飛騨高山でも熱帯果樹栽培を行っている。下賀茂はマグマを熱源とする温泉ではなく考え方を改めるべき。下賀茂温泉旅館組合、県下温泉旅館組合が温泉資源枯渇を懸念して反対陳情している。昨年5月29日付の同意書に関しては、同意をしないと言つ言明もある。大分県別府市は、温泉湧出全国2番目を誇る町だが、資源枯渇の可能性から掘削規制を進めている。雇用の促進は実効ある取り組みを推進すべきで、調査に10年15年かかるものは別な道を考えるべき。

非核自治体宣言

質問 1981年イギリスマンチェスターで始まった非核自治体宣言は、現在1788自治体中1587自治体で宣言を実施。宣言の

意義・南伊豆町の意思は。町長 町民・議会の意見を承りその是非を含め意義あるものとなるよう検討させていただく。

質問 行政報告された、7月11日杉並区との関わりで行われた自治体間連携会議に出た、名寄市、東吾妻町、杉並区、青梅市、南相馬市、北塩原村、小千谷市と南伊豆町を除く出席自治体は非核自治体宣言を上げている。非核自治体宣言は、世界の常識になっている。自治体間連携で協議を行った南伊豆町を除く全ての自治体が宣言していることを、課題にさせていただきたい。





渡邊 哲 議員

町長の施政方針に 対する進捗状況

質問 町長は3月議会において9項目の方針を打ち出してはいますが、その進捗状況はいかがか。

してあります。

質問 杉並区特養と福祉センターは合築とあったが現在併設となった理由は。

町長 進捗状況については町広報紙等、機会あることに紹介しております。特に杉並区との特別養護老人ホーム、健康福祉センターの整備は同時進行しています。石廊崎再生についても実施計画前段まで到達しており、

地熱資源活用についても国のエネルギー政策と合致した取り組みであるので慎重に進めており、その他各事業においても順調に事業推移

健康福祉課長 合築の方が町としてはメリットがあると検討しましたが、事業主体の違いと補助金の関係から事業主体を明確にという事で併設になりました。

質問 石廊崎再生について和条件に上の駐車場に道路をつける条件があるが和条件の中に工事の期限はあるのか、道路整備を先にと

いう意見もあるかがか。

企画調整課長 期限はありません。一括して整備を進める方針です。

町長 石廊崎再生には長い時間がたっていますが現在は区民の皆様と協議中ですが、できるところから整備を進め景観をよくします。

質問 一條稲梓線道路併設研究会の進捗状況は。

町長 伊豆縦貫道がオールトに決定し当町にとっては不利になった為、必要な道路と考えます。

建設課長 幹事会の中で、両市町で構成する同盟会の構成員を産業団体も含めるという決議がなされ、着実に前に進むような状況です。

質問 平成19年より投票所が22カ所から8カ所に削減されました。投票所の数と

投票率の低下は関係あるのではないか。高齢化の現状においては改善すべきでは。

選挙管理委員会書記長 18年3月の南伊豆町行政改革推進実施計画により投票所の削減を行いました。この事が投票率の低下の要因とは考えにくい。高齢化対策はいろいろと考えて行っております。

質問 しかしながら今の制度では期日前投票が4割を占めている。5日間の選挙活動で私達の訴えが理解されないうちに投票がなされてしまふ懸念があり、また臨時投票所の前で演説をしていいのですか。

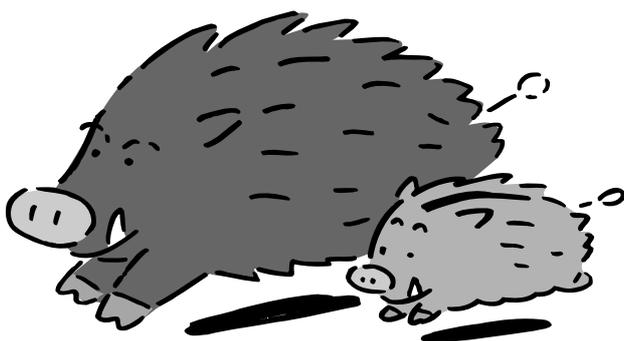
町長 間接民主制の中で非常に重要な制度でありますのでこの選挙の機会を確実に保証するという事は、重要であり時代にあった方法があると思うので選挙管理委員会と検討いたします。

質問 高齢化社会にあった町民の納得のいく改革をぜひ検討していただきたい。

鳥獣被害対策

質問 25年度策定の鳥獣被害防止計画の課題に狩猟免許保持者の高齢化対策が急務であるとなっているが未だ未達成である。諸団体と協力して職員にも免許をあたえて猟友会の高齢化を防止してはどうか。

町長 そういった事も踏まえ考えながら里山の整備を進め自然環境を見直します。





清水 清一 議員

地熱資源開発

質問 理解促進事業は、温泉事業者関係を中心に理解促進を図るのか。

研究中の業者から無償提供を受ける内容は。

町長 地熱の利活用、有効性の検証、枯渇の可能性の検証、制度規制の問題に踏み込みたい。

企画調整課長 小型の5KWの実証実験発電機、データが欲しいので町内に設置し機械をいただく。銀の湯に設置する。

質問 資源開発調査、7月16日に交付決定の内容は。

質問 100Vに換算すると、50アンペアの出力しかない。

町長 本年度も現行湧出調査の再解析を進めている。来年度には場所を変え噴気調査を実施したい。

質問 バイナリー発電機を

企画調整課長 その機械が動くための発電供給になる。現在実証中で安定的に動くか、年度末までの4〜5カ月で検証したい。安定稼働していれば、今後しばらく

置いてみる。

質問 条例をつくり温泉使用者の同意を得やすい策を考えているのか。もし熱が出なくなったときに、裁判状態になったときに困る。

町長 条例は、検討が必要かなと思っている。

農林水産業の

発展施策

質問 耕作放棄地解消に向けた取り組み。鳥獣害被害対策の取り組みは。

町長 自走式草刈り機の貸し出し。ヤギを利用した耕作放棄地の解消も考えていきたい。高齢化による狩猟免許保持者の減少が顕著で捕獲の担い手の育成が急務。

質問 カシノナガキクイムシについての対策は。

町長 ナラ枯れ被害は、今年度に急激に増加拡大、特に南上や三浜地区で顕著。

県内で昨年の51倍に達している。県や近隣市町と連携を図り対策を講じたい。

質問 広葉樹に対して森の力再生事業での要望が必要。

町長 県のほうへ要請し雑木林に対する補助もお願いできるようにしていきたいとは思っている。

質問 町の漁港整備、維持管理をどう考えていくのか。

町長 漁港の長寿命化計画の策定を進め、機能保全計画の策定に取り組んでいる。

産業観光課長 町営漁港の浚渫は、順次対応していく。漁協や関係者と協議したい。

定住化に向けた対策

質問 少子高齢化で人口減。町内事業所が減ってくる。

町長 人口維持には、移住促進が重要な施策となる。

質問 町民が南伊豆に住んで良かったと思わなければ、よそからも人は来ない。商店街の空き店舗の貸し出しを町で考えたかどうか。

産業観光課長 商工会が各種委員を集め、出店等に結びつけた。

町内医療、福祉

質問 特養老人ホームの進捗状況は。

町長 平成30年1月の開所を目指し、同時に健康福祉センターを併設し、健康福祉、子育て支援の基盤となる地域交流拠点としたい。

質問 湊病院跡地を町は他の1市4町に提案していく立場であるかどうか考える。医療関係のものを何か用意していただきたい。

町長 いまだに跡地利用計画は示されておりません。一部事務組合による早期の解体整備に期待している。

未来を担う子ども達

きらきら笑顔、共に歩む南崎っ子

本園は、この4月より認定こども園としてスタートしました。園の前は大海原。陽の光にきらきらと輝く海を眼下に見おろしながら、こどもたちの登園が始まります。「おはようございます」元気な挨拶で一日のスタート。「さあ、今日は何がはじまるかな？」

周りは山に囲まれ「海」に「山」と自然が豊富で、シーグラス拾い、磯遊び、虫取り等の遊びが楽しく行われています。こどもたちはとても明るく、元気いっぱい！ゆったりとした家庭的な環境のもと、のびのびと日々過ごしています。在園児は全体でも40名と少人数ではありますが、それを活かしたいろいろな活動も展開されています。特に異年齢活動は日々の保育の中で取り入れられ、その中で子どもたちは、やさしさや思いやりを自然な形で学んでいます。

昼食も3歳以上児はホールで一緒に食事。「おかわり!」「ほくも!」「わたしも!」互いが良い刺激となり、食欲も進みます。担任はクラスのみならず、どのクラスのこどもたちとも関わり、家族のような関係が保たれています。

こどもたちのよりどころとなるアットホームな園。それが南崎認定こども園です。

今後もそれぞれの思いに寄り添いながら、こどもたちが目を輝かせて過ごせるよう、職員一丸となって日々の保育に取り組んでいきたいと思ひます。

南伊豆町立南崎認定こども園
山本 定美



議会一コマ

定例会の意義と招集

定例会は、定期的に招集される議会の事をいう。地方自治法で「毎年、条例で定める回数これを招集しなければならない」と規定されている。

平成16年の法改正により、定例会は、通年「4回以内」とする回数制限が撤廃され、回数は、条例で自由に規定する事が出来るようになってきている。定例会は、条例で定められた回数、付議事件の有無にかかわらず必ず招

集しなければならない。そこで、定例会開催の月をあらかじめ定めておく方が、町村長としても、また、議員としても、さらに住民にとっても都合がよいので、条例で年4回と規定している場合は、議会の招集権を持つ町村長が、規則又は告示で、3月、6月、9月、12月と定めているのが通例である。議会を招集するのは町村長の権限で、町村長は開会の日の3日前までにこれを告示しなければならないと規定されている。告示があれば、その通知を受けて議長が各議員にその旨告知をする。

(比)



平成27年を振り返れば、災害が多い年ではなかっただろうか。地震、噴火も多かったが、9月には台風17、18号の影響で茨城、栃木、宮城、北海道など被害が出た。河川の堤防が決壊し多くの建物が流されて行く映像は、東日本大震災と重ねあわせた人も多かったのではないだろうか。わが町では、昭和51年の水害で大きな被害を出したので胸にこみ上げるものがある。当時は殆どいなかったと思うが近年は災害ボランティアの活動がとて頼もしく思える。自分もその当時、浸水した友達の家の後片付けに行ったことを思い出す。今後、如何なる災害が起ころうとも、地域の人達の協力が復興への近道だと思ふ。

(岡部)